

13161 保育実習ⅠB Nursery School Education Practicum IB			2 年次～ 通年 2 単位
担当者	大畠 孝子／飛田 隆／中島 美那子	履修可能学科	Pc
		関 連 資 格	保育必(P c)
サブタイトル	入所施設（児童福祉施設・障害児施設）における保育実習		
授業内容 ・ ねらい	施設実習を通して、利用者である子ども個々の特徴への理解を深め、福祉施設の役割・機能を理解し、保育士としての職務を体験的に学ぶ。 1. 実習施設の概要（沿革・組織・機能・地域性など）を理解する。 2. 施設利用者個々の特徴（入所の経緯、生育歴、性格、障害の内容・程度、人間関係等）を理解し、一人ひとりに合った養護計画・援助方法の必要性を具体的に学ぶ。 3. 施設には多くの職種の職員が働いている。保育士の職務内容・役割を知ると共に、職員間の協力と連携の方法およびその大切さを学ぶ。 4. 理論と技術が実践の場でいかに具体化され、統合されるかを考え、今後の学習課題を明確にする。 5. 実習生として社会に関わる責任を自覚し、ふさわしい行動様式を身につける。		
授業計画	(1)事前準備 事前に細菌検査をすませる。また、実習施設を事前に訪問し、オリエンテーションを受けること。『保育実習の手引き』はよく読んでおく。 (2)事前指導 実習の意義、実習日誌の書き方等に関する事前指導を受ける。 (3)実習 指定の12日間に施設実習を行う。実習の進め方に関しては実習施設の指示に従う。 (4)事後指導 実習終了直後に、実習先への礼状を出す。また、実習での学習事項、反省、課題などに関する事後報告レポートを作成する。		
教科書 参考書	必要に応じ、「保育実習指導Ⅰ」の中で紹介する。		
評価方法	実習施設の評価および実習日誌・実習終了後のレポート等を総合的に評価する。		
事前準備学習 履修条件等	「保育実習指導Ⅰ」を同時履修することが実習の必須条件。 利用者の人権を尊重し、プライバシーの守秘義務、とくに記録等の取り扱いについては細心の注意を払うこと。		